

15. 太田まちづくり市民会議に皆様のご意見をお寄せください。
(市民及び区長・区長代理)

●まちづくり市民会議に対するご意見

市民会議そのものが身近にない。
市民会議は知りませんが、市民の目線で検討していただきたい。
意見集約するのであれば、予算的配慮も十分にしてほしい。
現社会の問題点をもう少し広く見てこの活動を進めてほしい。
市民に生かされる活動ですので、今後、活動の拡大に向け展開することを望みます。
実効が上がる活動を地道に ... 期待します。
多少でもよろしいですから「休泊だより」等、また開かれた区長会等役員の方と話し合いがほしいですね。
市民会議のメンバーに、市の正副区長会長を入れてみたらどうですか。
会議に実効性があることが大切。構成委員の選任がよく分からない。
市民会議の皆様ご苦労様です。基本的な広範で包括的な内容を検討するのですから大変だったでしょう。せっかく作ったのですから、太田市の憲法として「普及」「定着」「実行」をあげたいものですね。
目に見える政策がない。将来的に間違いなく人口減と高齢化は来るし、出来るだけ既存の施設(多少遠くとも我慢)して箱物は作らず、借金を減らすことを第一に考えるべきで。この市民会議の発言が強く、市政に反映することを期待すると同時に、その成果を公表してもらいたい。
公募による20名でなく、自由参加の30～50名位にして、市長も参加すること(太田市民だけでなくともよいのでは)。足利や桐生など、隣接する人々の意見だって非常に勉強になる。
公募による20名の市民から構成されているが、公募以外の学識経験者等有識者もメンバーに入れるべきであろうと思います。
市民会議は20名の市民から構成されていますが、現状を考え20名の体制でよいのか。構成された委員の方はどのような立場(男女・職種・経験・経歴・年代)で対応しているか。20名の構成でよいのかのご検討と、一般市民の声を幅広く取り入れ運営しているのか。何となく不明であり不安です。

●まちづくりに対するご意見

「参画と協働」この意識を市民の中にどう育てていくのか。その具体的な方法を知りたい。書面でのPRは実感がない。人々との対面での活動を期する。行政に携わっている小生でも?があるということは、市民は、ほぼこの条例の意義を感じていないと思います。形があって中身がないのでは。
地域によっては、区長の任期が1年であるため、市からの配布物を町内に持ち帰り、そのまま町内に回覧または資料を配布するだけの地域もあると聞きます。もちろん区長会議の内容は一切報告なし。区長の任期が1年だから何もできないのではともいわれます。区長の任期は最低2年とし、「広報おおた」以外にも区長が区民に市からの情報を流し、また、区民の苦情や意見を聞くような環境を作してほしいと思います。南一番街の歓楽街の件ですが、歓楽街をゼロにすると性犯罪が多くなるとされます。また、そこで働く人達の生活の糧を奪うことにもなるので、規制を強化して現状維持でもよいのではと思う。
福祉社会(高齢者・障害者・子育て支援等)の確立にもっと力を入れてほしい。太田市は遅れていると思います。
地域の活動を推進するサポート体制ををどう構築するか検討してほしい。
合併後、色々な事が切り捨てられています。もっときめ細かな所まで行き届くまちづくりを期待します。温かみがなく無関心になりがちです。
総合病院の産科が廃止されているようですが(本島・福島)一般病院で対処出来ない救急で重い患者等心配です。
太田病院の移転計画を早く市民に知らせるべき。 ドーナツ化現象をくいとめる施策はないか。

市民の考えを市政に反映されるために制定されたとあるが、一般市民がまちづくりに参加する機会が少ない。郊外の大型店に押され町内店舗が衰退しているため、高齢者に住みづらい街になっている。地元商店街の活性化が急務と思います。

本町に店がありますが、車の中から見ると限り開店休業状態で宣伝が足りないのだと思います。

「１％まちづくり事業」も結構ですが、地区によって関心事が異なるので、地区別にどんなことに予算を確保したいか、希望を取って、それがまちづくりとして妥当なら許可する方向で検討する会議としていただきたいと思います。

１％まちづくりに助成金、これからボランティア活動を始める団体には、行事に係る経費は太田市で認められれば（２万円～４０万円以上も）年間２～３億円も支出予定です。１０～２０年間も旧太田市や旧尾島町、旧新田町でボランティア活動を継続している団体には助成金や補助金もなし。平成２０年４月からはボランティア保険の助成もなくなります。この格差はどういう訳ですか。

１月２７日に足利市民会館で「郷土芸能フェスティバル」を見る機会を得ました。中学生が三味線等の伝統和楽器を体験（４ヶ月間）発表したり、誰でも参加できる体験コーナーが設けられ、足利市の取り組みに多数参加され活気がありました。太田市にも伝統芸能は沢山あります。世界の文化に目を向けることも必要ですが、郷土伝統文化を特に小中学生に体験させる機会を多く設けてほしいと思います。また、全般的に立派な条例や規則が作られていても、具体的な活動を伴う事が大切です。是非行政の強力な指導とバックアップを望みます。

旧太田市には美術館等の文化施設が少ない。会議の議題にあげてもらいたい。

市長の都合で各地区の行事を行うのではなく、市民の多くが参画できる企画をお願いしたい。行事をこなすための日程配分になっているため参加できない。市民に都合が悪い遂行スケジュールになっている。

配布物（回覧板）は、さほど重要でないものが多すぎる、「広報おおた（新聞）」で間に合うのでは？ 運動会について。各地区では選手の予選程度を行い、太田市の運動会を一つを行えば良いと思います。

●もっと広報を必要とするご意見

よくパソコンや端末を活用して、情報や議事録を提供したらどうかと事務局は考えますが、それを受信する方は市民の微々たるもの。これも一考を要する。ある限られた人々、これでは条例の見直しの趣旨は徹底されない。才智を尽くして取り組んでいただきたい。現状維持や自己満足では発展充実は望めない。

市民に理解されていない。もう少し説明または広報が必要。

市民全体の理解協力がどこまで得られるか？ 事務局を中心としたＰＲが重要と考える。せっかくの条例も単なる掛け声だけで済まないようにしたいものです。

末端にも目を向けてほしいものです。

誰が委員か。何をしているのか全く分からない。

「新年度予算のあらし地区懇談会」等を利用して啓発に努める。

市民に対して周知させる方法がよくない。

もっと広報すべき。

「広報おおた」を利用して、もっと分かりやすく、見やすくのせていただいたらどうでしょうか。

もっと上手にＰＲしてほしい。

一部の意見で自己満足をしている組織とならないよう、考えているものは市民に明らかにし、市民の承認を得て進めるべきと考える。

多くの市民に、『まちづくり基本条例』が熟知されるために『太田まちづくり市民会議』の推進状況を理解される工夫がもっと必要と思います。頑張ってください。

● ご感想など

リサイクル委員会に参加させていただいておりますので、これからももっと勉強したいです。

アンケート記入にあたり、初めて『まちづくり基本条例』を読ませていただきました。知らないことを知ることができ、良かったです。

一般市民は自分のことに夢中で、条例などほとんど気にしていないのが常識。

事前に説明会及び勉強会があればよいと思う。

市民会議をよく知らないので分からない。